熱　意

小美玉市立小川南中学校　学校だより
NO. １３　令和２年８月３日　発行

教育目標　　これからの時代を切り拓く　たくましい生徒の育成
キーワード　熱意と誠意　　～　本気で　明るく　粘り強く　～

縦割り清掃活動

７月２８日(火)，全校生徒による縦割り清掃活動を実施しました。

これは，１年生から３年生までが同じ場所を清掃することで，３年生が今までに先輩から引き継いできた清掃の仕方について後輩に伝達し，南中としての清掃方法を生徒自身が伝統として引き継いでいくものです。

①膝をついて隙間なく雑巾がけをする。
②自分で仕事を見つけて最後までしっかり取り組む。
③心を込めて黙動清掃をする。

などの清掃に関する心構えも含めて，伝統をしっかりと引き継ぎました。

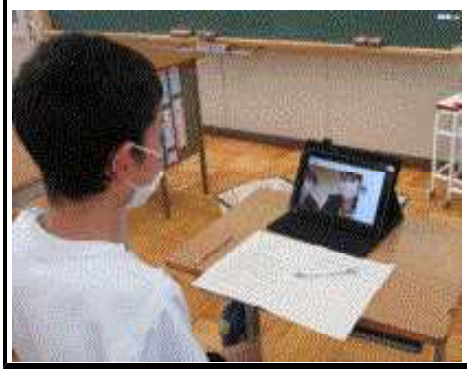
善行賞・受賞

７月２９日(水)，「青少年を育てる小美玉市民の会」の篠根捷應会長から，生徒会に対して直接善行賞が授与されました。受け取ったのは，生徒会長の小沼可怜さん，副会長の藤平良江さん，中里陸駆さんです。

今回の受賞は，本校生徒会が平成１２年から開催している「地域クリーン作戦」や福祉委員会が実施している「ペットボトルキャップの回収」事業に対して，継続して取り組んでいることへの善行表彰です。

これからも，地域のためになる活動に積極的に取り組んでいきたいと思います。

職場インタビュー(2年)



例年ですと，２年生が夏休み中に実施していた職場体験。今年はコロナ禍のためにインタビュー形式で実施しました。

インタビューの方法は，電話やＦＡＸ，メール，郵送など様々。今年，初めての試みとして，オンラインによるインタビューを引き受けてくれた事業所もありました。実際に相手の顔が見えて話すことができるので，生徒の緊張はＭＡＸ状態。それでも一生懸命にインタビューをしていました。水戸ホーリーホックを始めとするオンライン取材にご対応いただいた事業所の方々に感謝申し上げます。

また，電話やＦＡＸ等でご協力をいただきました，地域の事業所の皆様にも御礼申し上げます。